

ポプラ

第127号

発行 / 静岡市立田町小学校PTA広報委員会



6年間一緒に過ごしてきた仲間たちと見て、聞いて、体験した感動いっぱいの思い出づくり



静岡型小中一貫教育 がはじまりました

令和4年度スタートの静岡型小中一貫教育。本校は駒形小学校・安倍川中学校の2校とともに進めていきます。学校教育目標を「**未来(あす)をきりひらく子**」とし、9年間を見据えて教育活動を展開していきます。

安倍川地区に 生まれ育ってよかった

「総合的な学習の時間」を中心に、教科横断的な学習で資質・能力の向上を目指す

- 小1** 生活・駒形・田町
学校が好き
- 小2** 生活・学区たんけん
学区が好き
- 小3** 地域の歴史
ふるさと静岡を知る
- 小4** 福祉
みんなが生きやすい街に
- 小5** 環境
持続可能な街を
- 小6** 歴史
昔から今、未来へ
- 中1** 防災学習
安倍川地区を守る
- 中2** 職業意識
地域の人と仕事を学ぶ
- 中3** 生き方学習
地域に貢献する

学校づくりは街づくり
「生涯学べる街」に

安倍川もちの日

小中一貫教育の行事として、「安倍川もちの日」を設定しました。地域の銘菓「安倍川もち」を通して、地域に対する誇りと愛郷心を育みます。田町小では朝の時間に「安倍川もちの日オープニング集会」を行い、安倍川もちの歴史について全校で学びました。また、午後からは3校合同リモート集会を実施し、安倍川中学校生徒会の皆さんから出された「安倍川もち〇×クイズ」に挑戦しました。子どもたちは安倍川もちを持ち帰り、地域に思いを馳せながら味わって食べました。



徳川家康が名前をつけていた。安倍川もちの歴史が良くわかりました。

安倍川もちが静岡だけでなく、全国的なものだと知りました。安倍川もちの存在が少し変わりました。



全学年が端末を活用しています

9月から1・2年生にも学習用端末(クロムブック)が配付され、学習に活用しています。1・2年生の一番はじめての授業では、先生の指示に従いながら緊張した面持ちで入力をしている子どもの姿がありました。中には無事ログインできた感動のあまり、涙を流してしまう子も。この日の喜びを忘れずに学びを広げていって欲しいと思います。端末の持ち帰りや、オンライン授業についても持続可能な取り組みになっていきます。



食への取り組み -スマイル給食-

学校給食では、月に1回「ふるさと給食の日」を設定し、地場産業を活用した給食の日があります。地元の食材について学んだり、伝統料理に親しむ機会をつくっているそうです。また、静岡市自慢のブランド食材を使い、①はさんで食べる、②巻いて食べる、③かけて食べる等、体験を取り入れた「わくわく給食」もあります。その他よく噛んで食べることで虫歯や肥満の予防だけでなく、消化の促進や味覚の発達、脳のはたらきの活性化を促す「カミカミ献立」もありました。



ふるさと給食
 ●ごはん
 ●静岡おでん
 ●グリーンサラダ
 ●手作りぶりかけ
 黒はんぺんやおでん粉等、県内産の食材を使っています。



カミカミ献立
 ●ごはん
 ●豚肉とごぼうの卵とじ
 ●大豆とわかめのポリポリ揚げ
 ●イカ入りからし和え



わくわく給食
 ●しよつがんくん
 ツナコロバーガー
 ●レタス
 ●クラムチャウダー
 しよつがんくんのイラスト付きの特別なツナコロックです。

安倍川花火について学びました

安倍川花火の大会実行本部の方からくわしいお話を聞きました。大会の歴史や花火の種類など、初めて知ったことがたくさんあり、今までよりずっと「田町に住んでいてよかった」と感じる事ができました。図工では、各学年が花火大会をイメージしたオブジェを制作しました。



～ 地域とつながる防災教育 ～ 「TAMACHI エリアミーティング」

6年生が自分の住む地区の危険箇所を調べました。よく見ると普段気が付かない危険がたくさんありました。エリアミーティングは、それらを下級生に伝える目的で行った会議です。中学生にはオンラインで参加してもらい、地域からは各自治会の方に参加していただきました。6年生が伝えるだけでなく、下級生が質問をしたり、中学生や地域の方からアドバイスをいただいたり、有意義なミーティングになりました。



12月4日(日)

● 防災訓練 ●



避難所に必要なものが、こんなにあるんですね。家庭内での備蓄はしていますか？
来年度に向けて、防災教育で「自分に合った非常食」「避難に必要な物」等を学習していきます。



田町公園では、小中高生が消火器の使い方を体験していました。この辺は、昔から火事が起きやすい地域だそうです。いざという時、子どもでも使えるといいですね。

P

T

A

紹

介

● 本部

年間5回、運営委員会があります。どの役員も仕事や家庭に負担が掛からないよう皆で協力しています。皆様のご参加を是非お待ちしております。



委員会の様子

会 長

活動内容：入学式・卒業式での挨拶、研修会・会長会への出席、研修会の企画・運営
「会長(本部役員)は学校と保護者のかけ橋的な役割だと思って活動しています。子どもたちの学校生活がより良くなるよう、保護者の皆様にはPTA活動(側溝清掃や樹木剪定等)に協力していただけたらうれしいです。」

副会長

活動内容：運営委員会・PTA役員選考委員会での司会、社会福祉協議会合への出席、放課後こども教室実行委員会を兼務

「学校の活動や先生方の考えを知ることができます。先生方の人柄もわかり、子どもたちの学校での様子を教えてもらえることもあり、楽しいです。」

会 計

活動内容：資源回収・備蓄品等の管理・報告、損害保険の手続き・連絡、健全育成大会への参加、次年度予算案作成

「学校や各委員会と協議し、来年度の活動をふまえて予算の割り振りを決定します。月2～3回銀行窓口での出納業務があるので、平日の昼間に動ける方が向いていると思います。」

子どもの成長・発達講演会 子どもの見方、接し方

望月小児科 院長 小林由美子 氏 を迎えて
子育てに悩んでいる保護者の方、周りに悩んでいる
方がいる方、いろいろな立場において、とても参考
になるお話でした。

- ・ゲーム依存は、深刻
- ・子どもの問題の捉え方
- ・発達でこぼこと不登校
- ・幼児期の課題は遊び



- ・虐待は第4の発達障害をつくる

・良い接し方 → 当たり前の子育てを丁寧に！

★子育ては自分育てです。

子どもを可愛がる、正しい知識を持つ、ネット情報
に振り回されない、柔軟な考えを持つ、偏った考え
をしないで助言を受け入れる、原因探し、犯人探し
をしない（子ども・家庭・社会の絡み合ったもの
だから1つの原因はない）ことが大事です。

丁寧に「幸せに生きる力」を育ててあげてください。

「協働的な学び」が 苦手な子

コミュニケーションが苦手な子は、多人数のところで自分を出せないか、または、出しすぎてしまい、息苦しさを感じるようになります。トラブルが起きる時は、苦しさの信号を出しているのかもしれませんが。教室に安心できる居場所ができるように、または学校内に安心できる居場所ができるように、職員は子ども達を見守っています。「教室にいるのが当たり前」は、昭和なのだそうです。まずは、個々の「好き」を大事にしながら、自己肯定感を保つことが大切です。

「協働的な学び」とは、「人と話す」ことを通して多様な考え方に気づいたり、新たな興味を抱いたりする力がつく学びです。対話が苦手な子には、無理強いをせず、本人が安心できる居場所で、ゆっくりとコミュニケーション力を学ぶことが大切です。



「個別最適な学び」と「特別支援教育」

どちらも“**教育の原点**”は同じ

個性あふれる子どもたちの「好きなこと」から
「**無限の可能性**」を引き出したいですね



庶務

活動内容：総会・本部役員会・運営委員会の資料作成、本部役員会の司会、Cーランニングの配信

「庶務は先生方と連絡を取る機会が多いので、意見を伝えやすく、学校を身近に感じられます。子どもたちの環境をより良くしたいという保護者の方、一緒に思い出を作りましょう。」

家庭教育委員

活動内容：PTA 第一ブロックでの活動・講演会・研修会に参加、学校評議員会へ出席(年4回)、小中一貫教育推進協議会へ出席(年3回)、家庭教育委員会だよりスマイルの発行

「家庭教育委員会として参加した講演会では大学の先生やTJAR（トランスジャパンアルプスレース）優勝者の方のお話を聞くことができました。生涯学習を深めたい方におすすめします。」



顧問

活動内容：本部の相談役（本部経験者の方が、相談役として各役員のサポートをします。）

監査

活動内容：第1回運営委員会へ出席、3月末に会計監査

「昼間の仕事ですが、年に数回なので仕事をしている人でもやりやすいと思います。」





10/28

田町っ子

今年の
「燃える心と最高の笑顔
全校生徒で力を



学級委員

活動内容：秋に開催されるふれあい祭りの出店（ここ数年はコロナの影響もあり未開催、今年は出店を取りやめました）、講演会・樹木剪定等、他の委員会のお手伝い

「委員会に参加することで、学校活動の内容の理解が深まります。年間活動を通して、いろいろな方の協力を得て、先生方や地域との連携を深めることが出来ました。参加する側からだけでは得られない達成感があります。児童、保護者のみなさまで、田町小学校区の活性化を図っていききたいと思ひます。この地区で生まれ育ったことに誇りが持てるように、ご協力をお願いします。」



バザー品回収の様子

学級副委員

活動内容：ふれあい祭りの出店（コロナの影響もあり未開催）、講演会・樹木剪定等、他の委員会のお手伝い

「今年は久しぶりのふれあい祭りの開催予定でしたので、どのような形で行うか話し合いをしていました。委員会の方からも、保護者の方からも「〇〇はできないか」「〇〇やってみよう」とたくさんの意見をいただきとても助かりました。来年度もみなさんと色々意見を出し合って新しい形のふれあい祭りを盛り上げてほしいです。」



講演会の片付けの様子

環境整備

活動内容：年3回の資源回収（担当地域の回収場所を巡回）、5月に行う環境整備作業の誘導（任意の参加）

「活動は大変ではありません。早起きが得意、朝の散歩が好きな方、お子様と一緒にできる作業です。」



側溝清掃の様子



運動会

スローガンは
「仲間を信じてやりぬこう」
合わせて頑張りました。



● 体育

活動内容：バレーボール大会、田町学区運動会(コロナの影響もあり両活動未開催) 6月にプール清掃実施
「今年度からプール清掃を実施しました。小学生時代を思い出して、デッキブラシで無心に擦りました。筋肉痛になりましたが、少しでも子どもたちが安全に学校生活を送れるように先生方、委員さんと協力して活動しました。」



プール清掃の様子

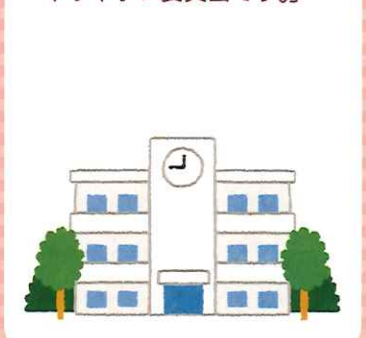
● 広報

活動内容：年2回前期・後期で広報誌ポプラの発行
「各学年の行事等の写真撮影を通して子どもたちの普段の学校生活での様子を見させていただきました。真剣に学び、取り組む姿・あふれる笑顔がとても素敵で、こちらが元気をもらいました。」



● 校外育成

活動内容：神明神社見回り、安倍川中学青少年健全大会への参加(コロナの影響もあり両活動中止) 安倍川中学校70周年記念式典への参加
「校外育成は、初心者でもやりやすい委員会です。」



● 市青少年補導委員

活動内容：月1回地域補導、3ヶ月に1回繁華街を歩いて中央補導、年2回地域補導のコースを県内一斉補導
「地域補導は中学校区ごとの班になり、駒形小・田町小・安倍中の委員と一緒に自転車に乗り巡回を行います。補導のコースは駒形方面と田町方面に分け、数名で公園や土手、神社等のトイレや設備の破損・ちくがきがないか等の見回りをします。」

校長先生ごあいさつ

「画面に現れていることは読めばわかる。だから、君たちが自分の思いを言葉で話しているところを見たい。大きな声で頼む。」

これは、今年度学校評議員の方からいただいた、本校児童への叱咤激励の声です。

「交通安全リーダーと語る会」では、6年生が調べた自分たちの住む地域の危険な箇所をプレゼンテーション形式で発表しました。情報活用の力を駆使したことはとても大きな成長でした。ですが、緊張して画面を追うことに必死になったり、画面を読み上げて終わってしまったりする場面も多く見られました。次第に、発表の声は小さくなっていき、参観の皆様には聞き取りにくくなっていました…。(この傾向は、10月に行った「田町エリアミーティング」でも同様でしたが)

冒頭の学校評議員さんの感想は、まさに、今の田町小の子どもたちの課題の核心を突いた、実面的確な批評でした。大変ありがたい言葉でした。とともに、地域の方からは「未来(あす)をきりひらく子」を具現化したレベルの高いものが求められていることを感じました。

本年度、各学年が地域の方を中心に「外部講師」という形でその道の専門家を招いた授業を行いました。その回数は、延べ30回を超えています。新聞等に紹介されたこともしばしばで、各方面からお褒めのことばをいただきました。しかし、その授業のほとんどは「受信」でした。自分の学習の確認だったり、より理解を深めるためにお話を聞くものだったり、価値は高いものの「情報を得て自分でまとめる」活動が主でした。それができるだけでも十分な力だと思いますが、その一方で自分の意見を述べたり質問したりする子は少なく、講師の方から意見を求められると下を向いてしまう子が多いのも事実です。顔を上げて話すよりも手元のメモを見て話すも目立ちます。自分の思いや考えを、みんなの方を向いて大きな声で伝えることができる子を目指します。一人ひとりに確かな学力をつけるために、来年度に向けて「発信」の場面を積極的に取り入れた学習を進めていこうと教職員一同で準備しています。

ご存じのとおり現代の情報社会では、いわゆる知識や技能はパソコンをはじめとするICT機器の中に入っています。つまり、獲得して定着することができればいいのです。求められているのは、自分の知識や技能を思考・判断した上で「どう活用するか、発揮できるか」です。つまり、活用や発揮の力が身に付いているかは子ども自身が表出したものでなくては確認することができません。そして、この力こそが、身近な友だち、日本の国内、そして世界の人たちとかわかっていくこれからの子どもたちに必要な力なのです。

来年度は全教科・領域をとおして、「学んだことをどう生かすか」「学んだことを周囲にどう広めていくか」に焦点を当てていきたいと思っています。「発信」の授業にさらに力を入れていくために、プレイルームにはプロジェクターと大きなスクリーンを設置しました。

静岡型小中一貫教育がスタートした本年度、保護者、地域の皆様のお力添えをいただきながら、田町小は大きく変化してきました。来年度は特別支援学級2学級を開設し、さらに一人ひとりに対して充実した教育を進めていく予定です。

ぜひ、PTA会員皆様のお力を結集して、よりよい田町小を創っていきましょう。

本年度の本校の教育活動に対するご理解、ご協力とご支援に改めて感謝します。



校長 榎本 義男先生

田町っ子サポーターになろう！

「なんでPTA会長になったの」と聞かれることが時々あります。

前会長に次年度のPTA会長やりませんかと言われた際、今の私の勤務体勢ならPTAの仕事も携われると思い、思い切ってやってみることにしました。正直、誘われたら断れない性格も理由ではあります。PTAという未知の世界に飛び込んだ方がいいが、右も左もわからないまま始まり、あれよあれよと半年が経ちました。会長だからと特別なことはなにもなく、ただただ保護者と学校との橋渡しの存在であり、本部役員の方々がいての会長です。

PTAとは「子どもの健やかな成長をサポートする役割を担っている」ということ。

側溝掃除や先日の図工室の移設では多くの保護者の方々にきていただき活動もスムーズに行うことができました。みなさまにはPTA活動にご理解、ご協力をいただき本当に感謝しております。今後とも、子どもたちの学校生活が少しでも良くなるように活動をしているPTAの活動にお力を貸していただけたら幸いです。



PTA 会長
飯田 あずささん